

地区だより

…………… 令和2年2月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 19,314人 女 20,754人
計 40,068人
世帯数：20,947世帯
(1月1日現在)



市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊚536-9828

令和2年市消防出初式

1月5日、こむこむ館、吾妻通りを会場に執り行われた消防出初式。式典では、下記の団員・分団が表彰されました。地域の防犯防火、防災などの安全を守る誓いを新たにしました。

■問／消防総務課 ☎534-9101

第一方面隊(第1～6分団・22分団)表彰者

●福島市長表彰

【消防功労章】

中野和紀(第1分団) 菅野英章(第2分団) 山本信一(第3分団)
高橋康昭(第5分団) 小栗哲也(第6分団)

●福島市消防団長表彰

【優良団員章】

野地広昭(第2分団) 高野篤史(第3分団) 渡部 敏(第3分団)
菅野英孝(第3分団) 根本和則(第6分団)

●福島ロータリークラブ会長表彰

【竿頭綬】(無火災分団表彰)

第3分団 第5分団 第6分団 第22分団野田町

【永年勤続章】

大野哲也(第22分団)



▲凛とした姿で行進する第一方面隊



▲表彰を受ける第3分団の高野篤史さん(左)

～道路除雪にご理解とご協力をお願いします～

積雪時に道路の通行を確保するため、除雪車や凍結防止剤散布車が作業します。主に交通量の少ない深夜から早朝に作業しますが、大雪または明け方の降雪で除雪が間に合わない場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

○問い合わせ先

【市道】平日の日中：市道路保全課 ☎525-3754

平日の日中以外：市役所(代表) ☎535-1111

【県道】県北建設事務所管理課 ☎521-2529

【国道4号・国道13号(平和通り～中央郵便局前交差点)】

福島国道維持出張所 ☎546-0524

【国道13号(中央郵便局前交差点より北、福島西道路)】

栗子国道維持出張所 ☎0238-34-2221

- 交通事故の原因や通行する人の迷惑になりますので、道路に大量の雪を出さないでください。また水の溢れ、冠水の危険性があるため、側溝に雪を捨てないでください。
- 大型除雪車で進むため、やむを得ず玄関や車庫の前などに雪を寄せていく場合があります。

令和2年度 個人市・県民税申告のご案内

中央地区での市・県民税の申告受付についてお知らせします。

■日時／3月12日(木)、13日(金)、16日(月)
午前9時30分～午後3時30分
※終了時刻の30分前までの来場にご協力をお願いします。

■場所／アクティブシニアセンター
アオウゼ(MAXふくしま4階)

※市内の各会場でも申告ができます。詳しくは『市政だより2月号』または市ホームページをご覧ください。

※所得税の確定申告書作成会場は「ウィル福島アクティおろしまち」(鎌田字卸町10-1)です。確定申告に関する相談は福島税務署(☎534-3121)へお問い合わせください。

■問／市民税課 ☎525-3792
☎525-3712

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

市民学校「親子で作ろう 手まり寿司」募集！

ひな祭りにむけて、親子で手まり寿司を作ってみませんか？手まり寿司とはカラフルな丸くかわいいお寿司です。一緒に作って楽しいひな祭りを過ごしましょう♪

- 日時 2月22日(土) 午前10時～午後1時
- 場所 中央学習センター 実習室、2階ホール
- 対象者 中央地区内の幼稚園年長組から小学校3年生までとその保護者。男の子も大歓迎。
- 定員 親子20組
- 参加費 1組600円(材料代)※2月20日(木)以降のキャンセルは返金できませんのでご了承ください。

- 講師 栄養士 齋藤麗子 先生
 - 持ち物 エプロン、三角巾、飲み物
 - 申込方法 2月1日(土) 午前9時より中央学習センター窓口にて受付します。
- ※電話での申し込みは翌日2月2日(日)からとなります。定員になり次第締め切ります。



「バランスの良い食事」で健康増進

昨年の6月15日(土)、9月28日(土)、11月30日(土)の3回シリーズで市民学校「バランス抜群！減塩料理教室」を開催しました。福島市食生活改善推進員協議会第7グループのリーダー山倉静子さんほか食改員のみなさんを講師に、季節の食材を使用し、減塩を心がけたバランスの良いメニューを作りました。



特に、最終回の11月30日(土)は、20名が受講し、「ミートローフ、洋風なます、ヨーグルトサラダ、減塩みそ汁」を作りました。終了後には、福島市食生活改善推進員協議会の関根恵美子会長から、「バランスの良い食事とは」について説明を受けました。ティータイムでは、「ふだん健康に気をつけていること」を懇談し、食の大切さを考える契機になりました。



減塩料理の講習、町内会でも開催！

森合町町会福祉部主催のふれあいサロン減塩料理教室が、昨年11月18日(月)に開催されました。福島市食生活改善推進員協議会第7グループが講師となり、森合町町会20名が参加しました。山倉リーダーによると「各町内会で減塩活動が浸透すれば、もっともっと健康寿命が伸びるのではないのでしょうか」とのこと。福祉部長の菅野真一さん、田中のりさんが中心となり4年前から計画されていた講習会であることから、意識の高さを感じます。ぜひ、市内各地で減塩の取り組みを広めていきましょう。

屋外掃除機等を頂きました

12月11日(水)、中央地区町会婦人部連絡協議会(佐藤輝子会長)の皆さんから、第50回中央地区文化祭手のひらパズルの益金により屋外掃除機、貸出用電気ボットを寄贈して頂きました。ありがとうございました。



中央寿大学募金運動 ご協力ありがとうございました。

福島中央寿大学では、活動のねらいの一つである「社会奉仕活動」の一環として、毎年12月に歳末特別募金「愛の小箱運動」に募金しています。

スタートは、昭和52年で、今年令和元年までの募金回数は45回を数え、合計金額は、1,270,377円になっています。今年の生徒数は90名で、38,000円を超える募金をしていただき12月19日に高橋英生委員長とともに福島民報社に届けてきました。これまでの小さな積み重ねが、このような額になったことに驚くとともに生徒の皆さんの教育や福祉に対する熱い思いに頭が下がります。



令和元年度こども茶道教室

こども茶道教室は、10月から12月までの全5回、市内の小学校に通う16名の小学生を対象に実施しました。

武者小路千家福島官休会のみなさんを講師に迎え、ふくさの扱い方、お茶の点て方などの茶道の基本動作や、礼儀作法を学びました。台風19号により開催時期が変更になりましたが、無事に全5回を終えることができました。

また、最終回には保護者の方々をお招きし、ミニお茶会を行いました。子どもたちは緊張した面持ちでしたが、練習の成果を見てもらうことができ、誇らしげな様子でした。



歴史コラム『これを学んで福島通になろう』

郷土史家 江代正一 氏

第8回「杉ノ目館また杉ノ目寺と大仏城～「おさらぎ」の由来～」

平安時代から鎌倉時代にかけて福島県庁周辺の地を杉ノ目と言ったが、その中心はどこにあったのか。

杉ノ目であるが、大和言葉において、スギは「すくい取る」、目は地面の「メ」という意味がある。この地域には旧松川が流れていたとされ(当時の阿武隈川は渡利弁天山の山裾を流れていた)、その松川の河岸段丘上に杉ノ目の館跡また杉ノ目寺があったことから、この辺と推測できる。その中心は、紅葉山公園にある鎌倉時代の供養塔が、県庁西庁舎の西側から発見されていることから、この辺りではないかと思われる。(余談であるが、杉ノ目の館主杉ノ目太郎行信は、文治5年(1179)の戦いで源義経の影武者となり戦死したとされている)。当時、寺と館はワンセットで、その地に杉ノ目大仏(大日如来の石仏)が鎮座していた。「板倉藩御歴代略記」の城下絵図の、板倉家臣内田彦三郎屋敷の中に、大日祠(だいにちほこら)と載っている。この祠に大日如来の石仏が幕末まで現存していた。この石仏は、明治になり福島城が破却された後、市内渡利の某所にある。その石仏の右ひざ下には「大日如来」と彫ってある。

どうして福島の人々は、大仏を「だいぶつ」ではなく「おさらぎ」とよぶのか。

鎌倉大仏は、別名で「長谷(はせ)の大仏」と呼ばれる。長谷(はせ)とは、大和言葉で崖地の意味で、大仏の裏側は崖地となっている。この辺一帯の地名は「おさらぎ」というが、「おさ」とは川のふもと、「らぎ」は湿地の意味である。昭和初期、おさらぎの地名と大仏を組み合わせたペンネームで流行作家大佛次郎(おさらぎじろう 本名 野尻清彦)が「長谷の大仏」の裏手にアトリエを構え活躍していた。福島においても、その流行に合わせていったとされる。

たとえば、福島市歌(北原白秋作詞山田耕稼作曲)は、昭和初期の福島の小学校の歴史教科書では、2番の歌詞の中に、「後あれ城跡」とあるが、後に「後あり大仏(おさらぎ)」と付け替えられたとされる。それから、大仏城(おさらぎ)とよばれるようになっていった。